

2月の子育て支援センターだより



今季最強＆最長寒波が、日本列島を覆っている中センターの庭にも、うっすらと雪が積もりました。ずっと雨が降らないカラカラのからっ風の中だて、子ども達は元気に外で遊んでいます。砂場も凍ってしまうので、パパ達が一緒に掘り起こしてくださいました。石や氷の大きな塊が出る度に「わーっ!」と子ども達の歓声があびります。そして、絵本室でパパが我が子に絵本を読んでいると…自然と子ども達が集まりました。

♡ みんなで子育て♡ いいですね😊

2月の草花

フランネル草



花言葉：「いつも愛して」「ユーモア」

冬の土の上であたたかさそうな毛が密集した葉茎を持ち、手触りが柔らかなフランネル。5月〜7月に酔っ払った感じの赤い花をつけることから、和名を「^{酔っ払い}酔仙翁」ともいいます。

🌱 わくわくの日 🌱

季節は少しずつ春に近づいています。センターのプランターにはチューリップの芽が顔をだしはじめました。でもまだまだ寒い日が続きます。2月も元気に過ごしましょう! 🌱

1月のわくわくでは、お正月遊び。コマを作って遊んだり、指先を沢山使って新聞紙をビリビリしたり、新聞紙の感触を楽しみながら親子で遊びました。



(そおーっとそおーっと)



(ビリビリを集めて 集めてパパー)

2月のわくわくでも身体を動かしていろいろな体験をしましょう! ぜひ参加して下さいね♡♡♡♡♡

♪ あかちゃんの日 ♪

寒波到来。春の便りが待ち遠しいです。節分に向けて、参加のみなさんに、「はらいたい鬼」についてお話してもらいました。「小さい(と言ってバタバタする)鬼」「片付けない鬼」「つい食べてしまう鬼」etc... 豆まきで鬼をはらって、新しい福と春がやって来ますように!!

あかちゃんたちは、鬼のペーパーサートや、お母さんの声かけ、ふれあい遊びで、ニコニコ笑顔。「はらいたい鬼」はいないようです!



少し大きな赤ちゃんの日

乳児期から幼児期に成長していく時期ですが、食事の問題も聞かれます。ムラ食い・少食・遊び食い・食欲不振などあります。食事は両親が、モデルになって、おいしい・たのしく一緒に食べられるといいですね。生活リズムをととのえることも、食事につながっています。おやつは、ジュース菓子など子えすきと次の食事にひびきますので、三食の補助と考えていくといいですね。

みんなで散歩

1月は浅川ハ幡宮へる組が参加してくれました。この日が初音となる親子もいて、茅の輪くぐりが本殿へ、ていねいに参拝ができました。境内巡りは子ども同士で手をつないだり、足とりもしっかりしてまた子もいて、それぞれの成長がみられた日に、なりました。



～のびのびの日～

1月ののびのびの日は、小正月(1月15日頃)に飾るまゆ玉づくりを行いました。まゆ玉は1年の五穀豊穡や家族の無病息災を願いもちや団子もみずきの枝などにさして飾ります。センターでも粉もこねて、丸めて、牛のひらでコロコロと転がす感触を楽しみながら親子で団子を作りました。出来上がった団子は、おり紙

で作った縁起物のだるまと一緒に飾りました。



センターの玄関に春を待つお花が咲いたような温かい気持ちになりました。

ことばの発達にとってもうれしいのは?

じつは食事の時間です。お口の動きの発達の前に...

ことばのない赤ちゃん時代から人とのやりとりを成立させようとするコミュニケーションが先に発達していきます



コミュニケーションの原型は授乳中のやりとりにあります



"ゴクゴク(おいしい~)"
"そろそろいっぱいの人だね"

生まれた時から目もみてコミュニケーションをとっています
パピのミルク時間も同じですよ。

食事の時間は言葉の発達につながっています

見る物と声かけから、ことばを学んでいく

7ヵ月ぐらいの赤ちゃんは、まだ「ことば」はありません。「あー」か「うー」でママを呼びます。

8・9ヵ月～1歳ごろのわずか4ヵ月間ぐらいの間は、言語発達にとって大事な時期です

ことばにならなくてもいいけど、らしい「ことば」を話します。外国語みたいだけれど、赤ちゃんにとっては結構意味があるのです。

子どもは他者(ママ/パパ)のしている物に非常に敏感です



たとえば犬をみてママが「かわいいね」と、又は「危ないから何う行こうね」では、犬へのとらえ方がちがいます。

つまり、ママが指さしたり見ている物と声かけの両方から、ことばを学んでいます。これを三項関係といいますが、

おっぱいを飲んだり、離乳食を食べることは、赤ちゃん1人ではできません。この三項関係のコミュニケーションの中で... ことばが発達していくのです。